

## 令和 4 年度 福祉文教委員会 第 1 回議会報告会

令和 4 年 1 2 月 9 日

委員長 【 阿久根 真一 】

議会報告会実施計画	委員会 テーマ	『インクルーシブ保育』について		
	テーマ 設定目的	共生社会の大切さとその具体的な課題や、SDGs が求める目標に向かう私たちの責任と社会変革のベクトル（力を合わせて向かう方向）を考えていくこと。		
	対象団体	「保育施設 26 園」「幼稚園 9 園」「児童発達支援の施設 4 施設」		
	調整事項	実施日	令和 4 年 1 2 月 3 日（土）	
		時間	午前 9 時 3 0 分	～ 午前 1 1 時 3 0 分
		会場	市役所東館 201～203 会議室 ほか	
		出席 予定者	福祉文教委員 6 名 対象団体の保護者代表など 最大 39 名	
事前準備	役割 分担	挨拶・基調報告・講評：阿久根委員長 司会進行：神野委員          グループワーク：全員 案内通知作成：阿久根委員長		
	資料	基調報告資料：川上副委員長          レジユメ：土屋委員		
	その他			
備考	行政視察した内容を基調報告した後、3グループに分かれ、ワークショップ形式で、問題や課題の抽出、また共有して取り組んでいくべきこと等を意見交換する。			

議会報告会実施報告	実施日時 参加者	実施日	令和 4 年 1 2 月 3 日（土）	
		時間	午前 9 時 3 0 分	～ 午前 1 1 時 3 0 分
		会場	市役所東館 201～203 会議室 ほか	
		当日 参加者	福祉文教委員 6 名 対象団体の保護者代表・園長など 28 名	
	実施内容 概 要	報告会テーマ 「障がいの有無に関わらず全ての子どもを受け入れるインクルーシブ保育に向けて」 行政視察による研修事項の基調報告後、3グループに分かれ、テーマを基に以下の論点について、ワークショップ形式で、共有して取り組んでいくべきこと等を意見交換した。 1. ヒト 2. モノ 3. 資金 4. その他		
報告書	報告書作成	委員全員提出、委員長まとめ	詳細は別紙	
	市議会だより	阿久根委員長	原稿は後日	
備考				

## 別紙様式2

## 議会報告会実施報告書

開催日時	令和4年12月3日(土) 午前9時30分～午前11時30分	
開催場所	市役所東館201～203会議室 ほか	
テーマ	障がいの有無に関わらず全ての子どもを受け入れるインクルーシブ保育に向けて	
出席議員	司会者	神野 義孝
	報告者	基調報告：阿久根 真一
	その他	ワークショップのグループ A：阿久根 真一・本多 丞次 B：川上 秀範・神野 義孝 C：勝又 英博・土屋 光行
参加人数	福祉文教委員 6名 と 「保育施設」「幼稚園」「児童発達支援の施設」の保護者代表・園長など 28名 計34名	
実施内容	<p>「子育て支援について」を年間テーマとし、行政視察をした内容を基調報告した。</p> <p>その後、3グループに分かれ、テーマを基に以下の論点について、ワークショップ形式で、共有して取り組んでいくべきこと等を意見交換した。</p> <p>1. ヒト 2. モノ 3. 資金 4. その他</p>	
主な意見・提言等	別紙の報告書及びアンケート集計結果のとおり。	

以上のとおり、報告します。

令和4年12月9日

御殿場市議会議長 様

御殿場市議会 福祉文教委員会 委員長 阿久根 真一



## 1. 報告会の概要について（案内・準備・実施）

（案内）・・・市内においては公・私立の全保育施設、小規模施設、幼稚園、発達障害施設の合計38施設対して案内を行ったが、当日は園の行事と重複しているところもあり最終的に26施設からの参加を頂いた。また、今回は園長などの施設側職員のみさんではなく、できる限り保護者様の出席をお願いしたところ、結果として半数以上の施設から保護者様の出席を頂けた。保護者として参加頂いた方も事前に園長との意見交換を行って頂けるようお願いしてあったことからスムーズにワークショップに入る事が出来た。

（準備）・・・当初の計画では7月に先進地視察、10月に議会報告会を開催する予定であったが、コロナ禍の影響により視察が11月初旬になった為、視察まとめから議会報告会までの準備期間が短くなってしまった。しかしながら委員会メンバーで役割分担を行い、且つ事務局からのバックアップもあり、滞りなく準備することが出来た。

（実施）・・・当日、参加予定者以外の方の参加もあり、少々戸惑ったが臨機応変に対応することが出来た。また、報告会の全体時間を120分としたなかで、ワークショップを50分間としたが、どこのグループも「時間が足りなかった」という声が多く聞かれ、そもそもの時間配分及び時間延長も行うような配慮が必要であったのではと考える。

## 2. インクルーシブ保育を進めるにあたっての当面の課題について（参加者の意見を集約）

（人）

- ・保育士の確保とインクルーシブに対する加配（一般及び専門的知識保持者）
- ・職員の能力把握とスキルアップ
- ・フレキシブルな人事異動（年度内においても）
- ・インクルーシブに対する知識、障がい児への対応方法を習得するための研修機会が必要（各施設個別ではなく市内関係施設すべてに案内を行う）
- ・基準配置ではなく市独自の看護師、養護教諭、カウンセラー、翻訳ボランティアの配置
- ・保育士の事務作業などの負担軽減策の立案と実践

(物)

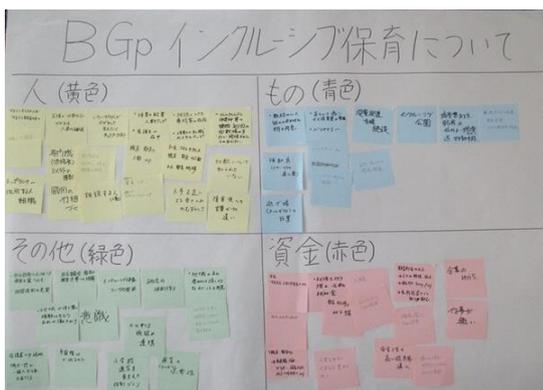
- 障がい児を受け入れるためのフリースペース、駐車場の確保や施設のバリアフリー化
- 外国籍の子どもを受け入れるための翻訳機の確保
- インクルーシブ保育に対する教材の調査
- イヤーマスクなどの補助具の整備
- インクルーシブ公園、遊具の設置
- 障がいがある人のための環境整備（バリアフリー）

(資金)

- 人を確保するための人件費
- 人材確保のための支援、助成制度を使った財源確保（障がいのレベルに応じた制度）
- 受け入れるための環境整備費
- 教材用資金
- 保育士の給与水準の引き上げ（離職防止、モチベーションアップに繋げるための）
- 重度障がい児受け入れに対する補助金の加算
- 保育士確保及び障がい児保育に関する国、県の補助金制度に対する情報交換
- インクルーシブ保育を行う施設への補助金制度

(その他)

- 臨床心理士による巡回相談回数の増加及び心配な子どもに対しての判定
- 医療的ケア児に対する受け入れ体制の整備
- 関係機関との風通しの良い連携体制の構築
- 障がいをもつ子どもの保護者の意見集約
- インクルーシブ保育でのイジメや差別に対する不安の払しょく
- インクルーシブ保育をけん引するトップランナー組織の構築と実績の共有化
- インクルーシブ保育を入れ込んだ市としての具体的な政策の策定
- インクルーシブ保育に対する啓発活動（地域や一般市民に対して）
- 小学校、中学校、高校進学そして社会人として生活していくことを見据えた体制づくり
- 療育の必要性
- このテーマは各園独自に取り組むのではなく市内施設が同一歩調で取り組むべき課題である



### 3. 報告会実施後の各委員からの感想

- 実際に保護者の方々からインクルーシブ保育に対する意見を聞くことが出来たので非常に有意義であった。また、インクルーシブ保育という言葉自体も一般的には広まっていない事を感じた。
- ワークショップについては、我々委員会メンバーが普段気付かない様々な意見を直接的に聞くことが出来る良い機会であった。特に子どもを預かる側、預ける側それぞれの視点や立場により重要視する事項の違いが顕著に表れており、より慎重に進めるべきと感じた。
- インクルーシブ保育に必要なものとして事前に「人、もの、資金、その他」という4つの区分に分けたこと、それをポストイットへ記入してもらうことで、参加者の意見が出しやすい雰囲気を作れたと思われる。
- ポストイットを模造紙へ貼り付けることで記録も残せるように出来たが、時間の関係上それぞれに対する深堀があまり出来なかった。

### 4. まとめ

今回の議会報告会は「インクルーシブ保育について」をテーマとしたため、一般市民のなかでも保護者や保育・幼稚園他施設の職員みなさんという限られた範囲での案内・開催となったが、実際の現場で子ども預かっているみなさんから直接、意見・要望を聞ける貴重な機会とすることが出来た。

また、このインクルーシブ保育については、国内ではまだまだ認知度が低いことに関して共通認識出来たことは一つの成果であった。今後も保育に携わっている方のみならず、周りにいる地域のみなさんからも、さらに理解を得られるよう醸成を図っていかねばならないと考える。

最後に、この政策に対する市の方針の変化は、今後の保育、幼稚園、その他施設運営への影響が非常に大きいものとなるため、推進していくにあたっては現場の状況をしっかりと把握しつつ慎重に進めていかねばならないと考える。



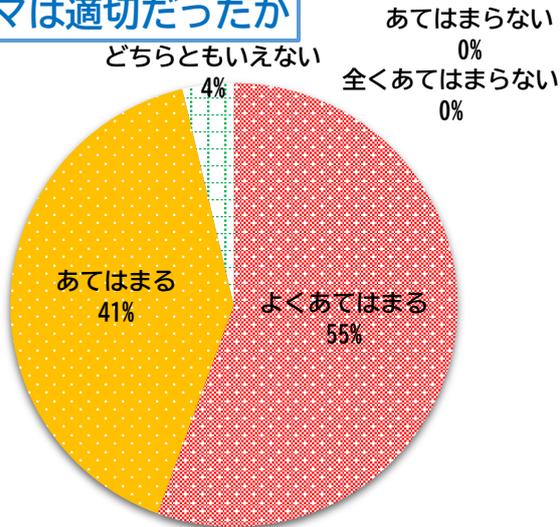
# 御殿場市議会福祉文教委員会 議会報告会アンケート結果

日 時：令和4年12月3日（土）

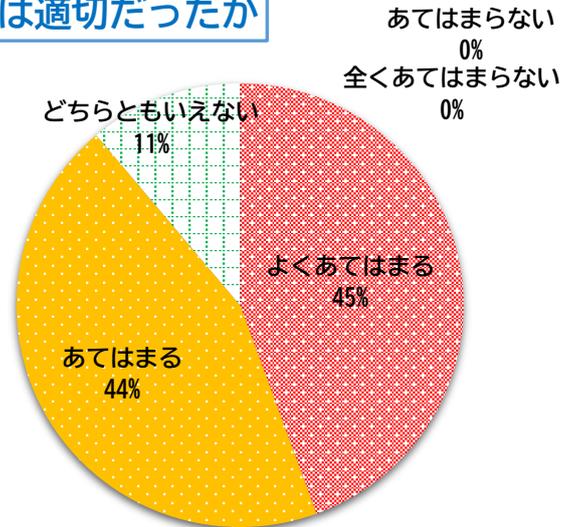
午前9時30分～午前11時30分

参加者：28人（回答者27人）

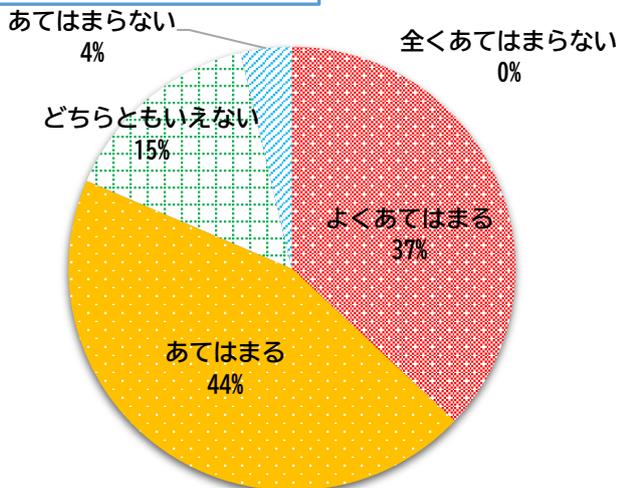
## テーマは適切だったか



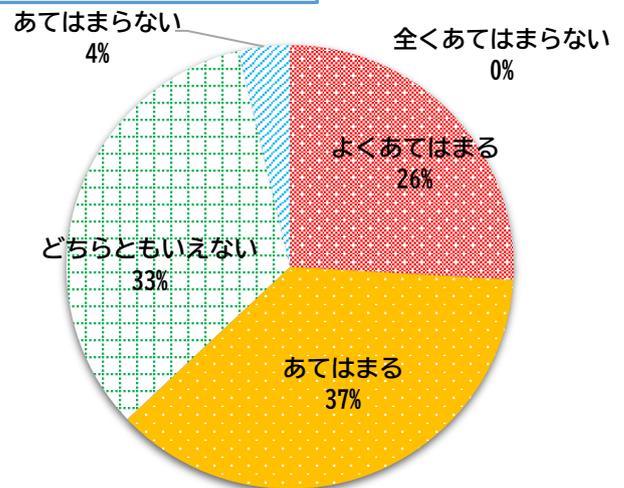
## 運営は適切だったか



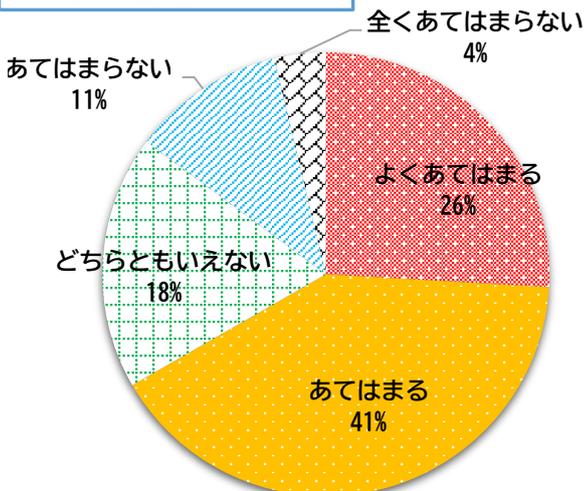
## 資料は適切だったか



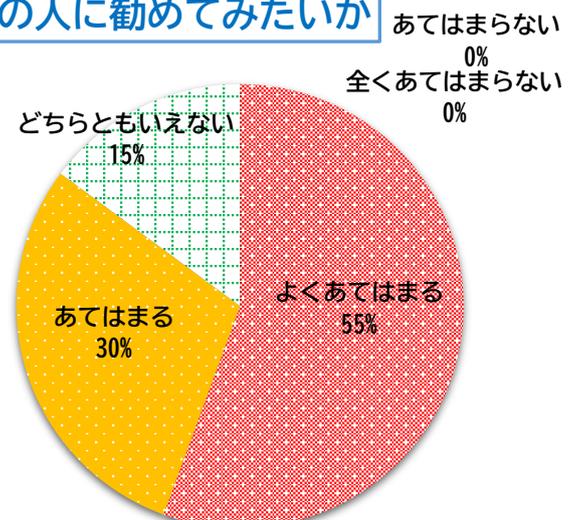
## 時期は適切だったか



## 時間は適切だったか



## ほかの人に勧めてみたいか



## 報告会に関して改善した方がよい点・ご要望等

- ・市議会として今後もこのような報告会を開くことにより、インクルーシブ保育の概念がどのように改善・普及してきたか等が、明らかになるように活動したら、市民が喜ぶ。
- ・グループワークで、様々な立場の方の色々な意見を伺うことができ、とても勉強になった。もっと多くの方に知ってほしいとことも、たくさんあったので、このような機会を増やしてほしい。
- ・議員、保護者、園長等、様々な立場の方と意見交換ができて有意義だった。
- ・色々な施設・事業者の方とそれぞれの立場での話を聴くことができ、貴重な時間となった。
- ・保護者の方の話を聴くことができ参考になった。
- ・保護者を呼んで、色々な角度から問題提起があつてよかった。保育園・幼稚園の者だけだと、考えが偏ってしまうので今後も多角的な方を呼んだ方がよい。
- ・各園の代表として保護者か園長であったが、どちらもいる方がよい。
- ・各園長、保護者・PTA会長が意見を交換できるとより良い報告会になる。
- ・今後も保護者の参加をお願いしたい。
- ・休日に有意義な報告会の企画・運営をしていただき、ありがたい。議会にどれくらいの人数がいるか分からないが、保育・教育の重要性を真剣に考えているのであれば、このワークショップにほかの議員や市長など、もっと大勢参加すべき。
- ・この会に保育幼稚園課長もいた方がよい。
- ・私自身の知見も広がり、勉強の機会になった。今後もこのような場があると嬉しい。
- ・研修の機会を頂き、ありがたい。
- ・インクルーシブ保育を知ることができた。
- ・満足である。
- ・公立幼稚園でも障がいの有無にかかわらず幅広く色々な子の受入れをしている。インクルーシブ保育を今後充実させていくために、やはり人材や経費等の環境がより整備されていくことを願う。
- ・公立園でもインクルーシブ保育に取り組んでいるので、現状を知ってほしい。
- ・市内のインクルーシブ保育の報告もあるとありがたい。
- ・市内の現状把握。
- ・インクルーシブ保育を運営している良い例だけではなく、悪かったことがあれば、そのようなことも報告してほしい。
- ・園の人たちは、インクルーシブ保育に不安がなく、積極的ではなかった。
- ・視察先の具体的なデータや内容が分かる資料を見たかった。
- ・資料がパワーポイントのため、配布資料では文章が隠れてしまっている。アニメーションは不要。
- ・資料にアニメーションを使用しないでほしい。
- ・とてもよい内容であったため、もう少し長い時間でじっくり話し合いたい。

- ・ 2時間では厳しいと感じたので、何回かに分けて継続していけるとよい。
- ・ もう少し自由なグループワークの時間があると、ほかの保護者や関係者と話が直接できてよかった。
- ・ グループワークで色々な意見を聴くことができたので、もう少し時間があるとよかった。
- ・ グループワークの時間をもっとほしかった。
- ・ グループワークの時間はもう少し必要。
- ・ 時間はもう少し長くてもよい。
- ・ 時間が短かった。

### 議会へ伝えたいこと

- ・ 富岳会をはじめ、御殿場はインクルーシブ保育の土台はできている。議会は現場の課題を聴き、一刻も早く保育士の処遇改善に努めていただきたい。「子どもを育てやすい御殿場市」になったら、とても素敵である。
- ・ 具体的な取組として、是非実践してほしい。
- ・ トップランナーを見つけていただきたい。内のある資金の運用ではなく、外からの資金の調達につながり、サイクルが上手くいくようにお願いしたい。
- ・ 保護者としては、インクルーシブ保育の言葉自体が認知されていないのが現状である。保護者に対する情報をお願いしたい。子どもたちの教育がより発展していくことを願う。
- ・ インクルーシブと言っても現状はインテグレーションで、まだとどまっている。また、インクルーシブをどこまで求めているのか。病院ですら総合病院は少ない。全てを受け入れるには人が分散しすぎる。御殿場に総合的なインクルーシブの学校を1校で、それぞれの分野に特化した学校をつくった方が人的にも間に合うのではないか。
- ・ 今回は、園についてのことだったが、小学校にあがることについても話したい。知的発達以外にも身体の障がいについて、もっと考えてほしい。医療的ケア児（少ないから後回し？）の保護者の意見を話せる場がほしい。
- ・ 保育もよいが、少子化対応をもっと強くした方がよい。
- ・ 先生の補助だけではなく、保護者が働かなくてよい補助金を。先生の質が上がる。愛着も形成される。
- ・ 現在は知りませんが、以前本市は「子育てがしやすい御殿場市」を掲げていたが、保護者の立場になると、あまりそう感じられない。現場と保護者の思いや要望を議員や市長はどのように受け止めているのか。本日のワークショップに参加すべきは、本日の参加者に加えて、議員全員と市長である。たった6人の議員と関係者で政策が動くのか。少しずつの変革ではなく、大きな変革が求められている今だからこそ、本腰を入れて教育に力とお金を割くべき。図書館を新設する予算を教育に充てたらどれくらい変わったのか。
- ・ 意見が一方通行にならないようにしてほしい。

- ・私自身が発達支援施設をつくることに興味がある。まだ勉強不足ですが、市の考えやサポートを教えていただけるとありがたい。
- ・市議会（福祉文教委員会）は頑張っている。

令和4年度

# 御殿場市議会

## 議会報告会

実施計画書

福祉文教委員会



過去より先進的なインクルーシブ保育に取り組む 社会福祉法人栄光園青山保育所の視察の様子  
— 別府市内 —

日時 令和4年12月3日(土)  
午前9時30分～11時30分

会場 御殿場市役所 東館2階201～203

連絡先 御殿場市議会事務局 電話 82-4323

# 福祉文教委員会 議会報告会の計画

1. 日 時 令和4年12月 3日(土) 午前 9時30分 ~ 11時30分

2. 会 場 御殿場市役所 東館2階 (201~203会議室)

3. 目的とテーマ

(1) 報告会の目的

開かれた議会により、市民各界の皆様とのコミュニケーションをより一層深め、市議会が真にその役割を発揮し、輝きのあるまちづくりを推進していくことを目標として開催する。

(2) 今回の報告会のテーマと目的

① テーマ 『障がいの有無に関わらず全ての子どもを受け入れるインクルーシブ保育に向けて』

② 目 的 共生社会の大切さとその具体的な課題や、SDGsが求める目標に向かう私たちの責任と、社会変革の方向性を考えていくこと。

4. 報告対象者

御殿場市内の就学前の保育・幼児教育等に携わる、公立・私立の各関係施設の代表者等。

(1) 御殿場市立保育園・幼稚園・認定こども園の保護者代表等

(2) 御殿場市内私立保育園・幼稚園・認定こども園等の保護者代表等

(3) 御殿場市内の児童発達支援施設の保護者代表等

<報告会への出席者 ――― 別の資料を参照>

5. 報告会の形式等について

当委員会から本テーマについての基調報告をし、その後グループを3つに分けて、グループワーク形式で話し合い、情報交換や問題・課題の抽出、また共有して取り組んでいくべきこと等を話し合う形式で進める。

6. 報告事項 ―― 基調報告の内容 ――

(1) 当委員会の活動とこの報告会の趣旨、及びインクルーシブ保育の考えと現状等について。

(2) グループワークの設定と話し合いの内容(情報や意見交換等)、及びこれを基にした今後の議会での取り組み等について。

(3) その他

7. 質問や意見・提言等への対応について

グループワーク等で出席者から出された質問や意見・提言等については、委員会としてその内容をしっかり受け止め、必要な対応については委員全員で積極的に取り組み、具体的な形で市政に反映する。また回答すべき事等があった場合には、適切な対応をする。

8. 報告会へ臨む福祉文教委員会委員(合計6人)

委員長 阿久根 真一 副委員長 川上 秀 範  
神野 義孝 本多 丞次 勝又 英博 土屋 光行

9. 進行次第と担当者等

— 司会進行：神野 義孝 委員 —

No	時間	次 第			担当者			
(1)	9:30～ 9:35	開会のあいさつ（委員長）			阿久根真一			
(2)	9:35～ 9:40	委員自己紹介（☆ 出席者は別の名簿で進行係がご紹介し事務局員も進行係が紹介する。）			各委員 （進行係）			
(3)	9:40 ～ 10:00	15分	基 調 報 告	「6の報告事項」による	委員長			
				5分	* 報告後、報告に関すること等について質問を受ける	進行係		
(4)	10:00 ～ 11:08	3分	グ ル ー プ ワ ー ク	* グループ構成・進行内容・移動等についての説明 テーマ <共通> 障がいの有無に関わらず全ての子どもを受け 入れるインクルーシブ保育に向けて	進行係			
				論 点		① 人 : 保育士・保護者・教育・組織 等 ② 物 : 施設・設備 等 ③ 資金 : 予算・補助金 等 ④ その他 : 相談・情報 等		
				グループ		ファシリテーター (進行係)	書 記	備 考
				A		阿久根真一 委員長	本多 丞次 委員	
B	川上 秀範 副委員長	神野 義孝 委員						
C	勝又 英博 委員	土屋 光行 委員						
		15分		☆ グループワークの結果発表 <各グループより>				
(5)	11:08 ～ 11:25	保育園・こども園関係代表者 → 原里第1保育園 様 からの感想等 幼稚園関係代表者 → 御殿場幼稚園 様 からの感想等 児童発達支援関係代表者 → 富岳学園 様 からの感想等						
(6)	11:25 ～11:30	委員長お礼のあいさつ			阿久根真一			
(7)		閉会のことば（副委員長）			川上 秀範			

御殿場市議会福祉文教委員会 議会報告会グループワークメンバー構成

		施設名	職名等
Aグループ		原里第1保育園	保護者会長
		萩原保育園	保護者会長
		すみれこども園	保護者会長
		にじのいろ保育園	園長
		萩原ぼんぼん保育園	園長
		原里西幼稚園	PTA会長
		森之腰幼稚園	園長
			教頭
		みなみ幼稚園	園長
		児童発達支援 とらこや	保護者
		進行	阿久根 真一
		書記	本多 丞次

		施設名	職名等
Cグループ		原里第2保育園	保護者会長
		印野こども園	保護者会長
		高根学園保育所	保護者会長
		神山認定こども園	統括園長
		スクルドエンジェル保育園 御殿場西田中園	園長
		竈幼稚園	PTA会長
		原里幼稚園	PTA会長
		御殿場聖マリア幼稚園	園長
		富岳学園	園長
		進行	勝又 英博
		書記	土屋 光行

		施設名	職名等
Bグループ		東保育園	保護者会副会長
		認定こども園 ぶらんこ	保護者会副会長
		ちびっこ園	主任
		スクルドエンジェル保育園 御殿場東田中園	園長
		御殿場幼稚園	PTA会長
		富士岡幼稚園	園長
			教頭
		玉穂幼稚園	PTA副会長
		こどもサポート教室 きらり 御殿場校	保護者
		進行	川上 秀範
		書記	神野 義孝

黄色の色塗りは意見発表者

保育施設代表：原里第1保育園 様

幼稚園代表：御殿場幼稚園 様

児童発達支援施設代表：富岳学園 様

※当日の配布資料から更新しています。

(実際の参加者)





御殿場市議会 福祉文教委員会

# 御殿場市議会 福祉文教委員会 令和4年度 議会報告会

テーマ：障がいの有無にかかわらず  
全ての子どもを受け入れ  
インクルーシブ保育に向けて

日時：令和4年12月3日（土）

場所：御殿場市役所 東館2階 201-203会議室

## 次 第

1. 開会のあいさつ
2. 委員自己紹介
3. 委員会視察報告
4. ワークショップ（分散会）の説明
5. ワークショップの実施
6. 各ワークショップの発表
7. 質疑応答
8. 参加者感想
9. お礼の挨拶
10. 閉会の挨拶



## 福祉文教委員会メンバー紹介

※委員長・副委員長以下は議員名簿順

委員長  
阿久根 真一



副委員長  
川上 秀範



委員  
勝又 英博



委員  
土屋 光行



委員  
本多 丞次



委員  
神野 義孝



委員  
田代 耕一



# 令和4年度 御殿場市議会

## 福祉文教委員会 行政視察報告

テーマ：

障がいの有無にかかわらず全ての子どもを受け入れるインクルーシブ保育に向けて

日 時：令和4年12月3日（土）

## 本日の基調報告の目次

1. 視察の背景および目的
  - 1) インクルーシブ保育とは
  - 2) SDGsにおけるインクルーシブの位置づけ
  - 3) 世界の状況と日本の近況
  - 4) 前期報告会で寄せられた意見・要望
  - 5) 視察の目的
2. 視察先・日程
  - 1) 由布市 由布市役所 湯布院庁舎 (保育士支援事業について)
  - 2) 別府市 社会福祉法人栄光園 青山保育所 (インクルーシブ保育について)
  - 3) 別府市 社会福祉法人太陽の家 (インクルーシブ社会について)
  - 4) 大分市 大分市役所・下郡保育所 (医療的ケア児教育・保育事業、保育士支援事業について)
3. インクルーシブ保育について
  - 1) インクルーシブ保育のメリット
  - 2) インクルーシブ保育の課題
4. まとめ

2

1. 視察の背景および目的
  - 1) インクルーシブ保育とは

### インクルーシブ

あらゆる人が孤立したり、排除されたりしないよう援護し、  
社会の構成員として包み、支え合う という**社会政策の理念**



3

1-2) SDG s におけるインクルーシブの位置づけ



1-3) 世界の状況と日本の近況

「偏食化は分離され、過剰の教育を受けにくくなっている」  
 国連、日本政府に「分離教育」やめるよう要請

世界には、すべての児童が中学校に入る年齢の適切な学習者としていない

**日本は  
 インクルーシブ教育において  
 世界と比べると温度差がある**

対し『分離教育』をやめるよう要請



## 2. 視察先・日程

令和4年10月31日～令和4年11月2日

- 1) 由布市 由布市役所 湯布院庁舎 (保育士支援事業について)
- 2) 別府市 社会福祉法人栄光園 青山保育所 (インクルーシブ保育について)
- 3) 別府市 社会福祉法人太陽の家太陽の家 (インクルーシブ社会について)
- 4) 大分市 大分市役所、下郡保育所 (医療的ケア児教育・保育事業) 及び、保育士支援事業について)

8

## 2. 視察先

### 1) 大分県由布市

場 所：由布市役所 湯布院庁舎

日 時：令和4年10月31日 14:00～16:00

視察の内容：保育士支援事業について（座学）

インクルーシブ保育を推し進めていく上で**保育士の確保は必須**

「保育補助者雇上強化事業」

⇒令和3年度に1施設で2名、令和4年度は2施設

利用実績

9

2-2) 大分県別府市 社会福祉法人栄光園 青山保育所

場 所：青山保育所園舎

日 時：令和4年11月01日 10:00~11:30

視察の内容：インクルーシブ保育について（座学・園舎視察）



2-3) 大分県別府市 社会福祉法人 太陽の家

場 所：太陽ミュージアム

スーパーマーケットサンストア（就労継続支援A型）

オムロン太陽(株)、(株)AED

日 時：令和4年11月01日 13:00~15:30

視察の内容：インクルーシブ社会について（座学・施設内視察）



2-3) ミュージアム、スーパーマーケットサンストア、オムロン太陽(株)、(株)AED



2-4) 大分県大分市

場 所：大分市役所議会棟→下郡保育所

日 時：令和4年11月02日 09：00～11：00

視察の内容：医療的ケア児教育・保育事業、保育士支援事業について  
(座学・施設内視察)



### 3. インクルーシブ保育について

#### 1) メリット

・様々な人にはそれぞれ違いがあること知り、いじめ、差別がなくなり  
子どもたちが育まれること。

・障がいを持つ子どもは同年齢の子と刺激を受け、  
成長につなげることができ、互いに相乗効果がある。

・保育園、保育士は高い保育スキルを身に付けられ障がい児保育の知識を  
広げることができる。

**子どもたちには良い影響しかない**

#### 3-2) インクルーシブ保育の課題

**大きく3点  
に区分**



6. まとめ

